

## 令和3年度 総務委員会 活動方針

副会長 萩原 清明  
専務理事 田口 智之  
委員長 高地たか子

組織全体の動きを把握しながら、理事会や各事業が円滑に活動できるように努める。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大により対面での活動が制限される中、時流に合った会議方法や連絡調整方法を検討・実施し、コロナウイルス感染症収束後も見据えて準備をしていきたい。

### 1. 総会、理事会など諸会議の設営

定款に沿った諸会議の運営、有意義かつ効率的な議論の場となるよう準備・運営を行う。テレビ会議などのネットを利用した会議運営も積極的に活用していく。コロナ収束後を見据え、集合型とオンラインのハイブリッド方法も模索する。

### 2. 地区間交流助成事業の実施

前年度に引き続き地区間交流助成事業を実施する。多くの学校園に活用していただけるように事業の拡大と周知の徹底を行う。

### 3. 第2回「全附P連みんながつながるオンライン文化祭」の運営

本年度も制約の多い学校生活となる中で、園児・児童・生徒、教職員、保護者が自分たちの活動を発信するとともに、他の学校園の活動を知ることができる貴重な事業として継続していく。

### 4. PTA活動表彰

他の学校の模範かつ先進的で優れた活動を行った団体を表彰する。多くの応募をいただけるよう周知・工夫をしていく。

### 5. 対外組織との連携を図る

文部科学省をはじめとする関係省庁、関係団体との連携をより強固なものにし、積極的に連携・交流を図れるように、連絡調整に努める。また、人事交流も含め「全国国立大学附属学校教育後援会連絡協議会」とも連携し、定期的に意見交換をする機会を準備する。

### 6. 子どもの貧困に関する調査研究と対策の検討（東京学芸大学との連携）

本年度は内閣府や東京学芸大学と連携しながら取り組みを充実し、子どもの貧困対策に寄与する。

### 7. その他

全国大会実行委員会、70周年事業実行委員会、運営企画会議への参画。